

平成31年4月～令和2年3月の事業報告

I 事業

1. 概況

- 前年度とほぼ同じ規模で計画し、奨学事業、研究助成事業ともに遂行しました。
- 財団の収支計算書に関しては、概ね予算通りとなりました。

(収入)

当期収入は 384 百万円となり、予算を 141 百万円上回りました。

主な理由は、日揮ホールディングス(株)からの配当金が 139 百万円上回ったことによるものです。

(支出)

当期支出は 401 百万円となり、予算を 133 百万円上回りました。

主な理由は、奨学基金積立資産ならびに研究助成基金積立資産に合計 140 百万円計上したことによるものです。

(収支差額)

以上の結果、当期収支差額は▲16 百万円となりました。

次期繰越収支差額は、前期繰越収支差額 214 百万円と合計し、197 百万円となりました。

- また、以下の通り公益財団法人の認定等に関する法律の要件を満たしております

(公益事業比率 認定法十四条)

公益事業の経常費用は 216 百万円となり、法人会計を含めた経常費用合計 260 百万円に対して 83%となり、基準である「50%以上」を満たしています。

(収支相償 認定法十六条)

奨学事業収支は▲1.2 百万円、研究助成事業は▲1.4 百万円となり、公益事業の収支がそれぞれ赤字となっており、収支相償の原則も満たしています。

(遊休財産保有制限 認定法十五条)

次期繰越収支差額 197 百万円は、公益事業費用 216 百万円を 19 百万円下回る結果となり、遊休財産額が 1 年分の公益目的事業費相当額を超えない要件を満たしております。

2. 日本人学生向け奨学事業

2.1 給与奨学金(382名、114.6百万円)

指定 73 大学の 382 名(385 名の計画に対して、定員割れ 2 名、辞退 1 名となった)の

理工系学生に対して、一人当たり 30 万円/年で、合計 114 百万円(予算は 115.5 百万円、90 万円減)を給付しました。

2. 2 海外留学奨学金(3 名、301 万円)

2018 年度の決定者 4 名でしたがこのうち 1 名が辞退したため、3 名に対して 301 万円を給付しました。月額 15 万円の奨学金と渡航費 20 万円を給付しています。

また 2019 年度も指定 5 大学から 4~12 ヶ月の期間で留学を予定する理工系大学院生 5 名を募集しました。

2. 3 貸与奨学金

2011 年度から新規募集を停止しており現在は返還のみ取り扱っております。

2019 年度は一括返還した者が予想より多く 84.3 百万円の返還金がありました。

2019 年度末の返済残額は 329 百万円、601 名となっております。

3. 留学生向け給与奨学事業(80 名、24 百万円)

指定 69 大学の海外からの理工系私費留学生 80 名を募集し、80 名の応募があり、一人当たり 30 万円/年を給付しました。

4. 奨学生ならびに大学担当部門との面談・交流

4. 1 指定大学訪問

2019 年 10~12 月にかけて地方所在の 46 大学、首都圏所在の 27 大学、合計 73 大学を訪問し、日本人奨学生、返還猶予者および留学給与奨学生(海外からの私費留学生)との面談、大学担当部門との意見交換を行いました。

4. 2 海外からの私費留学生との懇談交流

2019 年 12 月に首都圏所在大学の第二種給与奨学生との懇談交流会を実施しました。

5. 研究助成事業(30 名、60 百万円)

研究助成は、奇数年:37 大学、偶数年:36 大学を対象とし募集しています。

2019 年度は 37 大学より募集し 62 名の応募がありましたが、選考委員会で審査の結果、30 名に対し一人 2 百万円で合計 60 百万円万円の助成を行いました。

2019 年 9 月に選考委員、理事出席のもと、研究助成金贈呈式を行いました。また、2018 年に助成した研究テーマに関する研究報告集(Vol.37 号)を纏め、関係者に配布しました。

公益財団法人 日揮・実吉奨学会 奨学金および研究助成金の指定大学一覧(2019年度)

大学 コード	大学名	日本人		留学生 給与 (人数)	研究助成金		大学 コード	大学名	日本人		留学生 給与 (人数)	研究助成金		大学 コード	大学名	日本人		留学生 給与 (人数)	研究助成金	
		給与 (人数)	留学		奇数年	偶数年			給与 (人数)	留学		給与 (人数)	奇数年			偶数年	給与 (人数)		留学	給与 (人数)
01	北海道	9		2		○	25	福井	3		1		○	51	大阪府立	5		1		○
02	東北	9		2	○		26	静岡	7		1		○	52	埼玉	4		1		○
03	東京	11	○	2	○		27	山梨	3		1		○	53	富山	3		1		○
04	京都	11		2		○	28	名古屋工業	5		1		○	54	琉球	3		1		○
05	大阪	11	○	2		○	29	山口	4		1		○	55	茨城	4		1		○
06	九州	11		2		○	30	九州工業	5		1		○	56	東京農工	5		1		○
07	東京工業	9	○	2	○		31	室蘭工業	3		1		○	57	岐阜	4		1		○
08	横浜国立	6		1		○	32	首都東京	5		1		○	58	愛媛	4		1		○
09	岩手	3		1		○	33	大阪市立	3		1		○	59	北見工業	2		1		○
10	千葉	7		2		○	34	早稲田	11	○	2		○	60	宇都宮	2		1		○
11	新潟	4		1		○	35	慶應義塾	9	○	1		○	62	佐賀	3		1		○
12	金沢	4		1		○	36	芝浦工業	9		1		○	63	大分	1		1		○
13	名古屋	9		2		○	37	東京電機	9		1		○	64	兵庫県立	3		1		○
14	神戸	7		1		○	38	日本	11		1		○	65	豊橋技術科学	2		1		○
15	岡山	5		1		○	39	中央	4		1		○	66	長岡技術科学	2		1		○
16	広島	5		1		○	40	学習院	1		-		○	67	筑波	7		2		○
17	徳島	4		1		○	41	東京理科	11		1		○	68	工学院	7		1		○
18	長崎	2		1		○	42	千葉工業	9		1		○	69	東海	11		1		○
19	熊本	4		1		○	43	成蹊	1		-		○	70	電気通信	4		1		○
20	宮崎	3		1		○	45	鹿児島	5		1		○	71	立命館	8		1		○
21	鳥取	4		1		○	47	東京都市	4		1		○	72	日本女子	1		-		○
22	秋田	2		1		○	48	上智	2		1		○	73	東京海洋	3		1		○
23	山形	5		1		○	49	関東学院	3		1		○	74	明治	9		1		○
24	群馬	3		1		○	50	信州	7		1		○	75	同志社	5		1		○
														76	お茶の水女子	1		-		○

* 日本人向け奨学金	給与 385名/73大学	留学 5名/5大学
* 留学生向け奨学金	給与 80名/69大学	
* 研究助成金	30名 (偶数年は36大学、奇数年は37大学から)	

(大学コード 欠番 : No.44 No.46 No.61)

2019年度 研究助成金 受給者一覧

	大 学	学部・研究科	職 名	氏 名
1	東北大学	多元物質科学研究所	准教授	筈居 高明
2	京都大学	工学研究科	准教授	坂本 良太
3	東京大学	工学系研究科	助教	森廣 邦彦
4	東京工業大学	生命理工学院	助教	三木 卓幸
5	東京工業大学	科学技術創成研究院	助教	田中 裕也
6	名古屋大学	工学研究科	准教授	小山 剛史
7	名古屋大学	物質科学国際研究センター	講師	大町 遼
8	神戸大学	海事科学研究科	准教授	元井 直樹
9	神戸大学	システム情報学研究科	助教	全 香玉
10	岡山大学	自然科学研究科	講師	高石 和人
11	岡山大学	環境生命科学研究科	助教	根本 理子
12	熊本大学	先端科学研究部	准教授	上田 顕
13	群馬大学	理工学府	助教	覚知 亮平
14	群馬大学	理工学府	助教	神成 尚克
15	静岡大学	工学部	准教授	藤井 朋之
16	山梨大学	総合研究部	助教	植田 郁生
17	山口大学	創成科学研究科	助教	中原 佐
18	九州工業大学	生命体工学研究科	准教授	川原 知洋
19	九州工業大学	情報工学研究院	助教	森本 雄祐
20	大阪市立大学	複合先端研究機構	特任助教	池山 秀作
21	東京電機大学	理工学部	准教授	足立 直也
22	東京理科大学	理学部	助教	加瀬 直樹
23	鹿児島大学	学術研究院理工学域工学系	助教	新地 浩之
24	鹿児島大学	学術研究院理工学域工学系	助教	永山 務
25	東京農工大学	工学研究院	助教	岡田 洋平
26	東京農工大学	工学研究院	助教	福谷 洋介
27	岐阜大学	工学部	助教	小野 頌太
28	愛媛大学	農学研究科	助教	渡邊 康紀
29	北見工業大学	工学部	助教	平井 慈人
30	同志社大学	理工学部	准教授	遠藤 太佳嗣